

平成31年1月15日
九州地方整備局
道路部 交通対策課

中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転サービス
「道の駅^{あしきた}芦北でこぼん」を拠点とした自動運転サービス
第5回地域実験協議会を開催します！

昨年度に実施した、「道の駅^{あしきた}芦北でこぼん」を拠点とした自動運転サービスの実証実験の結果を踏まえ、長期間の実証実験の実施に向けて第5回地域実験協議会を開催します。

国土交通省では、高齢化が進行する中山間地域における人流・物流の確保のため、「道の駅等を拠点とした自動運転サービス実証実験」を実施しています。

このうち、「道の駅^{あしきた}芦北でこぼん」を拠点とした実証実験については、平成29年9月30日から10月7日まで実施したところです。

第5回地域実験協議会では、長期間の実証実験の実施に向けて実証実験の計画やビジネスモデルとしての検証項目などを協議します。

○日時・場所

日 時：平成31年1月16日(水) 9:00～

場 所：熊本県^{あしきた}葦北郡^{あしきたまち}芦北町^{たのうらまち}大字田浦町653

^{あしきたまち}芦北町地域活性化センター 2階会議室

※ 会議は非公開とします。ただし、報道機関に限り、会議冒頭の会長挨拶までカメラ撮り可能です。
会議の結果については、会議終了後に事務局より説明します。

希望される報道機関の方は、前日(1月15日17時)までに以下の担当者までご連絡ください。

担当：九州地方整備局熊本河川国道事務所(TEL096-382-1111 坂元、岩熊)

※ 「道の駅^{あしきた}芦北でこぼん」を拠点とした自動運転サービス地域実験協議会HP
<http://www.qsr.mlit.go.jp/n-michi/zidouunten/dekopon.htm>



※本実験は、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)のプロジェクトの1つとして実施するものです。

問い合わせ先

九州地方整備局 道路部 交通対策課長 ^{ながとし}永利 ^{しんたろう}信太郎
交通対策課長補佐 ^{いもと}井本 ^{まきお}真樹男

(代表)TEL:092-471-6331 (課直通)TEL:092-476-3534 FAX:092-476-3481

**道の駅「芦北でこぼん」を拠点とした自動運転サービス
地域実験協議会
委員等名簿**

平成31年1月15日現在

委員	所属
溝上 章志	熊本大学 大学院 先端科学研究部 教授
円山 琢也	熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 准教授
勝又 成也	熊本県 土木部 道路保全課 課長
小牧 裕明	熊本県 芦北地域振興局 局長
竹崎 一成	芦北町 町長
宮尾 秀行	芦北町 議会議長
森 教烈	熊本県警察 交通企画課 課長
高木 和寿	熊本県警察 交通規制課 次席
古賀 壮一	熊本県警察 芦北警察署 署長
馬場 秀男	「道の駅」芦北でこぼん 駅長
立丸 一廣	自治会長 道川内西地区 区長
丁 道夫	あしきた農業協同組合 組合長
雄谷 誠祐	ヤマハ ゴルフカー事業推進部 部長
鈴木 学	九州地方整備局 熊本河川国道事務所 所長
小串 俊幸	九州地方整備局 道路部 道路情報管理官
牛島 幹之	九州運輸局 自動車技術安全部 技術課長
松野 完治	九州運輸局 熊本運輸支局 支局長
井坪 慎二	国土技術政策総合研究所 道路交通研究部高度道路交通システム研究室 主任研究官

会場位置図



	実証実験
H29年度 (2017)	短期の実証実験（1週間程度） ○主に技術的検証やビジネスモデルの検討 ○全国13箇所を実施（総走行距離：約2,200km 参加者：約1,400人）
H30年度 (2018)	長期の実証実験（1～2か月程度） ○主にビジネスモデルの構築 ○H29年度に実験を実施した13箇所のうち、車両調達の見通しやビジネスモデルの検討状況等を踏まえて、準備が整った箇所から順次実施 ○翌年度以降の早期社会実装を目指す （平成30年度は5～6箇所程度） ※この他、H29年度のFS箇所のうち、地域での検討の熟度に応じて、順次実証実験を検討

「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスの2020年までの社会実装を目指す